

広報ただみ診療所

朝日診療所

医師 森 冬人



「子ども・孫・ひ孫の相談といえば」

4月から診療所もリニューアルします。良いお知らせは常勤医師が3名から4名に増えることです。これまでより待ち時間が短くなり、予約も取りやすくなると思います。

所長の若山隆先生(只見勤務は8年目!)、こぶし苑も担当する森(只見勤務4年目)、1年前まで只見にいた山内健士朗先生(相馬市から戻ってきました)、そして初めて只見に来た鶴山保典先生の4名です。どうぞよろしくをお願いします。

さて、只見町の子どもたちはみんなとても元気ですよ。ただ、小さな子どもは熱、風邪、胃腸炎、皮膚のボツボツ、けがなど病院に行くことも結構よくあるのではないのでしょうか。先日、あるお母さんが初めての赤ちゃんと一緒に風邪のために診療所に来ました。ちょっとお話をすると「次の予防接種どうすればいいですか?」と尋ねられました。母子手帳を見ると、だいたいの予防接種は受けていましたが、大事なものがちょっと抜けていました。「次は体調がよければ〇〇と△△という予防接種

を×月×日頃に受ければ大丈夫ですね」といったアドバイスをしました。

10年前と比べると子どもの必要な予防接種はととも増えています。生まれてから2歳までの2年間で25回くらいやります。かつて子育てをした皆さん、こんなにたくさん注射をする事を知っていましたか?きっと大人は1回の注射でも嫌だと思いますが、子どもたちは受けています。予防接種は、肺炎や髄膜炎など命に関わるような病気を防ぎ、難聴などの重い後遺症を防ぐ効果もあります。

たくさん予防接種を計画的に打つことは大変です。もし予防接種のことで困ったら、町の保健師が相談に乗ってくれます。また、診療所の医師も子どもの予防接種をよく知っていますので、困ったときはお声かけ下さい。もちろん、基本的な子どもの予防接種は予約をすれば朝日診療所で接種できます。その他の子どもの健康に関する心配事も、診療所でご相談下さい。

地域おこし協力隊として

只見町観光振興協力隊

vol.41

橋本 拓馬



「冬の勤務地」

今年の冬の勤務地は只見スキー場でした。スキー場勤務は今年が初めてで、昨年は只見町観光まちづくり協会で仕事をしていました。スキー場での主な作業はゲレンデの監視・リフト乗車時の補助・圧雪車によるゲレンデ圧雪作業・除雪作業で、今年は例年に比べて雪が多く山麓・中間・山頂・各支柱の除雪作業がとても大変でした。なかでも各支柱の雪おろしが非常に大変で、支柱は全11本あり、その支柱までかじき履いて歩いて行き、現場に到着したら支柱に登っての雪おろし作業になるので運動不足の私にとっては非常に大変な作業でした。

今年はとにかく雪が多く毎年1月に開催される「只見毎日杯」が連日の大雪により中止となりました。他にも2月に開催される「町民スキー大会」も大雪により危うく中止になるところでした。スキー場にとっては雪が多い方がとてもありがたいですが、大会や小学校のスキー教室の際には雪が少し降るくらいが丁度よいと感じました。来年は中止にならないことを願っています。

来年も町内外の利用者に満足して頂けるように努めて行きたいと思います。